



フォロー・レクチャー2

『超単純!? 「●●の設定」が

英語マスターの鍵だった!!』

～ほとんどの英語挫折者が見落としている落とし穴～

藤永：どうも～、藤永です。また登場しました。

植草：こんにちは、植草です。

藤永：はい、今回はもったいぶって終わりましたが、

今日お伝えしたいのは、まず前回の復習にもなるんですが、皆さんやっぱり何事もそうなんですけれど、英語もそうですし、ビジネスもそうだと思うんですけど、スタートしたんだけど続かないという方が非常に多いと…。

じゃあ、それには何が必要なのかということで、●●の再設定、

植草：●●の再設定？

藤永：単純です。目標の再設定。

植草：目標、いわゆるゴールってやつですね。

藤永：はい。

ゴール。これは高く持っても結構です。
私の場合は英語が全く分からない時に、「英検 1 級を取るんだ！」と。

僕があんまり尊敬してなかった先生が英検 1 級を持っていたんで（笑）
まず、英検 1 級を取るんだという設定を置きました。

皆さんね、よく言われるのが、

「いきなりジャンプしたんでしょ？」

と言われるんですが、そんなことは絶対にはないです。

植草：そうですね。

藤永：何でもそうじゃないですか。いきなり、ジャンプすることはないと。

僕はよく言うのが急がば回れじゃないんですけれど、ちゃんとしたステップ
を踏んでいくのが一番の近道だというふうに言っています。

ただ、皆さんこのステップがわからないから、
途中で実は挫折してしまうんです。

目標の再設定もそうなんですけれど、
実は“ステップがわからない”というところですね。

植草：なるほどですね。

藤永：でも、ビジネスの世界でもそうじゃないですか？

植草：まあ、同じですね。

僕なんかもコンサルティングしていると、個人の方から法人の方までいるん
ですが、例えば、個人の方で年収 1 億円ほしいとか。

急に 1 億円というとびっくりしちゃった方もいるかもしれませんが、
でも、現実にある世界なんですよ。

年収で 1 億円ほしいんですという人から企業でいうと何百億円という話に
なってくるんですけど、今とはかけ離れている場合が結構あるんですよ。

だから、目標は僕はやっぱ高く持たないといけないと思うので、高く持ってもらうんですけども…。

とはいえ、いきなり年収 100 万の人が急に明日 1 億円にはなったりはしないんで。そうするとやっぱ挫折というか、自分の中で出来ないんだってなっちゃいますね。

藤永：なっちゃいます。

だから、そこにもしっかりとしたステップが絶対あると思うんですよ。間違ったステップを踏んでしまうと、目標に辿り着かない。

例えば、英語で言うと、英検 1 級取らないといけないと思ったときに、皆さん、だいたいやるのが単語を暗記し始めるんですね。

まず、このスタートが間違っているんですね。そこには、ちゃんとしたステップが実はあるんです。ステップがあるんですが、でもそこで一番大事なのがやっぱり目標なので。

植草：なるほど。

藤永：まず、自分が目標というか…、アクションの設定でも僕はいいと思っているんですね。

植草：行動の設定ですね。

藤永：例えば、海外に行くんだと。じゃあ、来年の 5 月にもうここでチケット取ってしまえと。「行くんだ！」と決めて、そこに向かって、英語を習得してみようとか、そういう設定でも全然構わないです。

植草：なるほどですね。

藤永：だから、目標の設定とアクションの設定。これが並行している感じでも全然構わないので、

植草：そうですね、僕なんかも何度かお伝えさせていただいているように、月に 1 回海外に行くと言っているんですけど、それもある種のルールみたいな感じで、「月 1 で行くんだ」という感じなんですよ。

藤永：そうですね。

植草：だから、まあいろんな目的をつけたりするんです。

僕の場合は、投資用の物件を見に行くとか、現地リサーチに行くんですけど、別になんとか行かなきゃ行かなくてもいいわけです。

僕なんか自分でやっているんで、行かなくても誰に怒られるわけでもないんですけれども、まあ決めちゃって来月の15日からどこどこに行きますというふうに決めちゃうと、もうチケット取っちゃえば行けるんで。

一番近い英語圏ってどこですかね？

藤永：え〜と、多分グアムとか、そういうのが近い。2〜3時間で行ける。

植草：まあ、そうですね、3時間。
そうするとグアムとかのチケットって別に3万円とか5万円とか？

藤永：いや、もう全然安いですよ。

植草：そうですね。

藤永：あのねえ、国内旅行するよりも、全然安いわけですから。

植草：ですよ。

藤永：だから、遠くの温泉旅行に行きたいというんだったら、もう海外設定してもらった方が全然いいくらいですね。

植草：もう、その通りですね。

藤永：そうです。

僕が言いたいのが、英語が出来る人しか海外が通用しないとかではなくて、やっぱり、そのアクションを起こせる方というのが一番強いと思います。

植草：そうですね。

やっぱり、僕なんかもほんとまだまだですけど、例えば、カンボジアとかベトナムの人って、英語が全然下手くそなんですよ（笑）

藤永：笑、そうですね。

植草：でも、タクシーとかに乗ったりすると「おまえはどこから来たんだ？」という所から始まって「明日はどこに行くんだ？」「もう予定は取れているのか」「明日何時にホテルを出るんだ」と。

要は、明日の予定を取りたいんですよ。明日タクシーを使ってほしいから、売り上げるのに必死だから、もう下手ですがバンバン話してくる、

藤永：そうですね、だからそこには彼の目標設定があるんですよ。

お金を稼ごうという多分何かあって。そこにはしっかりとお客さんと話さな

いといけないというアクションをやっぱり起こしているんですね。

皆さんもそうだと思うんですが、アクションを毎日起こすことが
実はこれが大変なんですよ。

植草：大変ですね。

藤永：で、僕は何をやったかという、必ず1日5分～10分、
これぐらいの時間を絶対英語に触れるんだという決め事を作りました。

植草：なるほど。

藤永：あのね、30分、1時間って考える人がもの凄く多いんですよ。
英語を2～3時間毎日やらないと…。

絶対、続かないです！

植草：辛いです。

藤永：僕が知っている方、そんな続く方はいないです。

植草：たしかに、僕が見てきている方でもどんなに優秀な方でも、
例えばMBA取ってる、ビジネス詳しい人はご存じかもしれませんが、
経営修士号ですね、優秀な方が取るのとか、

あとはお医者さんとか弁護士さんなんかも、
そういうようなお勉強が得意な方々もやっぱり、ステップ。
ベイビーステップっていうんですかね。それを踏む。

藤永：そうなんです。だから、

なんか表みたいなの、先ほどありましたよね？

植草：そうそう、ちょっとじゃあ、
僕がちゃんとやってるということで（笑）

藤永：はは（笑）
そう、目標に向かってというのが見やすいのがあるので、

植草：いちおですね、僕、ちょっと見にくいかもしれませんが、
これは僕が無料でプレゼントしている成功マニュアルみたいなやつを
PDFで94ページ位のやつを作って、

藤永：長いですね（笑）

植草：（笑）プレゼントしているんですよ。

僕も要は普通のサラリーマンだったんですけれども、あんまりちょっとアレですけれども、1ヶ月に僕1300万円位稼げたんですね。

その成功マニュアルみたいなものをまとめた章をプレゼントしようと思って書いたんです。ちょっと前に書いたんですけど、

藤永：ちょっと、見えにくいかもしれないんで読みますね。

「普通のサラリーマンだった僕が、やりたいことが見つかって
幸せに稼ぎ“自由”を手に入れた実践型ノウハウ」ってやつです。

植草：はい。こんな感じでやったんですけれども、今日はそのベイベーステップ、小さな一歩を踏み出そうと。

逆に言うと、その小さな一歩って不安になるじゃないですか？

藤永：うん。

植草：例えば、1日5分で英語ってほんとに…。
例えば、45年後に英語が喋れるようになってもしょうがないわけですよね？

藤永：しょうがないです（笑）

植草：やっぱり、3カ月とは言わなくても1年後、2年後というふうになってくるのかなと思ったときに、ちっちゃいと何か不安になるんですよね。

藤永：みんな、そうなんですよ。

植草：ただ、そのちっちゃいのがどれくらい大きな力になるかというのが、
たまたま、僕が作っていたこのノウハウの、

藤永：これ、メチャクチャわかりやすい。僕でもわかるくらいなんで（笑）

植草：ちょっと長いんでだいぶ省略するんで、見たい人は全然無料なんでダウンロードしてもらえたらいいかと思うんですけども、この目標の立て方とか、

藤永：ビジネスと英語ってもの凄く似ているところがほんとにあるんですよね。

植草：はい。

藤永：これは面白いなあ、共通する点があって。

植草：たしかに、そうですね。

藤永：だから、僕も英語を教えていますけれども、いろんな文化、いろんな職種の方と触れることでこういうのがヒントになるなというのがあるので。これはまさしくそうかなと思っています。

植草：これ、見えますかね？

これは何書いてあるかというところと“小さな一歩がとてつもないエネルギーに変わる”というので、ドミノ倒しの話を例に取っているんですけども。

ドミノ倒しってご存知ですよ？よく、お正月とかで、ブンっと押すと、ガタガタってなるんですけども、それって基本ドミノが同じ大きさだと想定されているんです、

ドミノは1個目に倒した時に1.5倍のドミノが倒れると言われています。自分の体積に対して、1.5倍だと倒れるというふうに言われているんです。

最初5センチ。まあ、5センチってまあこんなもんですね。で、最初の5センチのドミノをパタンと倒したときに1.5倍だと。次は7.5センチですよ。

藤永：はい、そうですね。

植草：そういうふうにした時に、どれぐらいの大きさになるかというものを表でまとめたんですよ。

藤永：これ、めちゃくちゃわかりやすかったです。

植草：これね、ここが何個目みたいな感じで、ここが何センチ、ここが何メートル、で、高さの目安なんですけれども、こんな感じですよ。

まず、1個目が5センチ、だから0.05メートル。
2個目が7.5センチなんです。3つ目になると11.3センチ、
4つ目が16.9センチみたいな感じで…。

とはいえ5個目に25.3センチ…。
最初に5センチだったのが25センチなんで、まあ大きいですけど。

とは言っても、こんなもんかみたい感じだと思うんですよ。
けれども、これ凄いんですよ。
10個目になってくると、急に大きくなってくるんですね。
10個目で192センチなんで。藤永さん身長どのくらいですか？

藤永：僕、175センチくらい。

植草：175センチくらいですよ、だから成人男性を最初5センチの大きさだったのが、10個目が倒れる時には、藤永さんが倒されちゃうんですね。

で、この辺りから加速度がカーブの形なんです。

藤永：あのね、英語もまったく一緒なんですよね。

最初はほんと小さなステップで上達したかな？というのがあるんですが、ぐ~っと曲線が来るんですよ。

植草：ある日、伸びるんですね。

藤永：もう確実です。

植草：ぐ~っと行って、16 個目。これすごいですよ。

10 個目からたった 6 個ですよ。ビルの 7 階の高さを超えるんですよ。だから、16 日目だと思っただけなんです。

で、23 個目。東京タワーの大きさ超えます。東京タワーの大きさなんです、374 メートルなんです。

もっと見ていくと、25 個目。スカイツリー超えます。で、31 個目。これすごいですよ。エベレスト山、超えます。だから、すごいんですよ。

最初はほんとに目では見ても全然わからない、今ここで指を動かしていますが、水平か水平じゃないかくらいですが、急にぐ~って行くというのが、物理的な証明としてわかりやすいかなと思ったんですけども、

藤永：そうですね。だから、この曲線が必ずありますよね。

植草：あると思います。

藤永：必ずあります。英語でもそうなんですけれども、どうしても実感が湧かない方って結構多いんですよ。

実はそれがものすごく大事な期間なんです。

いきなり実感が湧くってことはやっぱおかしいんですね。そんなビジネスもないですよ、いきなり実感が湧きましたってことは絶対ないはずですよ。

植草：ないです。

藤永：実感が湧かないけど、後からぐ~ってくる。ここまで頑張ればいいですよ。踏ん張ることがものすごく大事なんですよ。

植草：臨界点みたいな。

僕もビジネスでよく伝えます。臨界点超えるまではわかんないんだけど、超えた瞬間、ある日、「あれ、英語が聞こえるよ」みたいな…

藤永：そうなんです、やっぱり皆さんの不安なところって実感が湧かないってあるんですよ。

どんな教材を買ったりとか、英会話スクールに行っても、実感が湧かない方が多いんですが、実はその期間がものすごく大事だということなんです。

植草：なるほど。

藤永：ただ、ちゃんとしたステップを踏まないと、その期間も無駄になっちゃうんで。

植草：もったいないですね。

藤永：すごい、もったいないです。で、必ずこの曲線は来るんですね。

じゃあ、それをどのようなステップでやったらいいかというのを、実は次回お伝えしたいと思っているんですよ。

植草：なるほどですね。

藤永：正しいステップです。正しいステップをもう一度、皆さんにお伝えできたらと思います。

ビジネスもまったく一緒です。これも見やすいので、是非ダウンロードしてもらって、全然見てもらって僕はいいと思うので。やましいものでも何でもないです。

植草：ちゃんとしたものなんで（笑）

藤永：長いですけど（笑）

是非、目を通して。暇な時間にでも全然いいので。ただ、目標設定というのはほんとに。再設定です。

今回は再設定。1回目標を設定したんだけど、ちょっと挫けそうになっちゃった。

でも、もう一度再設定しましょうよというヒントもこの中に入っているんです。

英語とまったく共通するところがものすごく多いので
是非見てほしいなと思います。

植草：例えば、TOEIC で 850 点取りたいという人が頑張ったけれども
疲れちゃったみたいになって、

藤永：あります、あります。

植草：で、また 850 点だと言っても、
それでは解決にはなっていないということですね。

藤永：なっていないです。ちゃんとしたステップを踏んでほしいと。

植草：どういうふうにステップを踏むのかと。

藤永：そうです。

僕がなぜ、英語で挫折をしなかったのかというヒント、
そのステップをお教えできればと思うんで。

植草：素晴らしいです。

藤永：はい、次回を楽しみにしてほしいなと思います。
藤永式●●ステップっていう題名にしておきましょう（笑）

植草：いくつあるか？みたいな。

藤永：そうですね。

植草：わかりました。

藤永：じゃあ、次回お会いしましょう。
すみません、何回も伸ばしちゃって。

次回、これは完結という形で楽しみにしてほしいなと思います。
それでは、次回お会いしましょう！

次回、フォロー・レクチャーの第3話では、

**続かない人の英語力がどんどんカーブしていく！
『最も簡単にできる最強の英語習得ステップ』**

をお伝えします。

実は、たったこれだけの差で、英語習得の加速度が変わってしまうんです。

これは、もう揺るぎません。

やっぱり、皆さんの不安なこととして、いくら勉強しても、英語が上手くなった実感が湧かないことだと思います。

色々な教材を買っても、単語を暗記しても忘れる。言葉がパッと出てこない。英会話スクールに通っても、まったく上達の実感さえ湧かない…。

これって、非常に勿体ないです。

だからこそ、英語が続かない人ほど、再スタート地点は、絶対に“**ここから始める**”ことが重要になります。

そして、その臨界点を超えると、

ある日、「あれ？英語が聞こえるっ」

みたいな不思議な感覚を覚えます。必ずあなたにもその曲線が来ます。

それでは、次回もお楽しみに!!

【藤永丈司プロフィール】

何の対策もせずに初受験で TOEIC990(満点)、英検 1 級取得。小学校英語指導者資格、ニンテンドー3DS ソフト「TOEIC テスト超速トレーニング」スペシャルアドバイザー、芸能人への個別指導、英会話・TOEIC 講座、企業研修、他多数。

自身の受験英語への疑問や登校拒否といった苦い体験から、文法や暗記などといった従来の学習を 180 度違う角度から切りこみ、短期間で「英語回路」を身につけるメカニズムを発見。10 年以上にわたる海外生活から、外国人の英語習得の早さと相対する日本人の遅さの違いを同時に徹底的に解説・研究を繰り返すことで、日本人へ「英語回路」を植付ける仕組みを解明。

日本人には日本人独自の習得方法があることを見出し、母国語を自然に覚えるメカニズムに独自言語習得法と本来人間が持っている爆発的な潜在能力を融合する事でその効果を確実なものとしている。

主な著書にベストセラーシリーズ累計 10 万部『「超速」英語プログラム』『なぜ、留学生の 99% は英語ができないのか?』他多数。現在、2020 年までに 5,000 人のネイティブスピーカーを輩出し、英語を使って、世界で活躍できる日本人を後押しするビジョンに向けて、初心者で短期間でネイティブにする最短ステップをプログラム化し、多くの日本人に伝導している。